

2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
コード番号 3181 URL https://www.okoku.jp
代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)長谷川 和夫
問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)陳 美華 (TEL)052-304-7851
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社のホームページに掲載します)
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の業績 (2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,217	16.3	224	35.6	238	31.2	152	37.2
2023年2月期第2四半期	2,767	18.5	165	249.6	181	209.9	111	280.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	42.06	—
2023年2月期第2四半期	30.96	—

(注)当社は、2023年3月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	4,099	2,543	62.0	699.84
2023年2月期	3,954	2,397	60.6	662.60

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 2,543百万円 2023年2月期 2,397百万円

(注)当社は、2023年3月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しております。2023年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2024年2月期(予想)については、現時点において、未定とさせていただきます。予想が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	10.8	450	16.4	476	13.2	304	11.2	84.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、2023年10月13日に公表いたしました「2024年2月期業績予想及び出店計画の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	3,640,100株	2023年2月期	3,622,600株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	6,002株	2023年2月期	4,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	3,622,369株	2023年2月期2Q	3,586,714株

(注) 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの収束にともない、コロナ危機前の水準に回復できたものの、長期化したウクライナ問題、中国の景気後退、円安・ドル高及び物価高騰などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

リユース小売業界におきましては、円安・物価高騰という観点における生活防衛、またSDGs・ESG等がクローズアップされたことによる循環経済への関心の高まり等により、フォローの風が吹いておりますが、人件費上昇、店舗運営費用の高騰などで厳しい環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

商品政策においては、法人買取、宅配買取、海外仕入など商品調達ルートを増やし、全体の商品調達力を高める取組みをしております。また、店頭買取システムの見直しに引き続き注力しており、バックヤードの標準化などを通して効率アップを目指しております。

店舗政策においては、お客様が再来店したくなる売場づくりに注力し、見やすい・探しやすい・手に取りやすいという標準化を推進するため、改善チームを結成し、定期的に店舗の巡回指導をしております。

出店状況におきましては、店舗開発部門が出店方針等を勘案しながら、精力的に開発活動をしてまいりました。

2023年6月23日に、マイシュウサガール業態のマイシュウサガールみよし店（愛知県みよし市）が、マイシュウサガール豊田店（愛知県豊田市）の移転先としてグランドオープンいたしました。マイシュウサガールみよし店は、ファッション以外にホビー雑貨類も取り扱い商材に加えており、当社独自の国内三次流通を可能にしたマイシュウサガール業態のパワーアップモデルになります。今後更なるビジネスモデルのブラッシュアップを図ってまいります。

2023年7月6日に、おたから買取王国業態の六店舗目として、おたから買取王国バロー土岐店（岐阜県土岐市）をオープンいたしました。地域密着型をスタンスにお客様が利用しやすい立地を厳選した新規出店でございます。

2023年9月1日に、北陸地方第一号店として、工具買取王国金沢鞍月店（石川県金沢市）をオープンいたしました。新たなドミナントの拠点として、今後展開してまいります。

その他に、全社的に営業力の強化を推進しておりました。その結果、2023年7月20日に当社のモノドネ事業で株式会社サカイ引越センターと業務提携いたしました。お引越すお客様の不用品を寄付につなげていく提携内容です。株式会社サカイ引越センターの名古屋北支社にてスモールスタートをし、今後より広範囲に展開してまいります。

売上高については、前年同期を大きく上回りました。売場の充実により主要商材のファッション・ホビー・工具とも順調に売上を伸ばしております。また、サブ商材のトレカに関しては、株式会社テイターのトレーディングカードAI読取システム「TAYS（テイズ）」を22店舗に導入した成果を徐々に得られてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,217百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は224百万円（同35.6%増）、経常利益は238百万円（同31.2%増）、四半期純利益は152百万円（同37.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて111百万円増加し、2,752百万円となりました。これは、現金及び預金が14百万円、売掛金が29百万円、商品が57百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて33百万円増加し、1,346百万円となりました。これは、無形固定資産が5百万円、投資その他の資産が26百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ145百万円増加し4,099百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて69百万円増加し、862百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が増加した一方、未払法人税等が42百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて70百万円減少し、694百万円となりました。これは、退職給付引当金が2百

万円、資産除去債務が6百万円増加した一方、長期借入金が84百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末の負債合計とほぼ同じ1,556百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて145百万円増加し、2,543百万円となりました。これは、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が11百万円、資本剰余金が11百万円、四半期純利益により利益剰余金が152百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が28百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末と比べて14百万円増加し、1,033百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は71百万円(前年同期は42百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益238百万円、減価償却費の計上30百万円により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額57百万円、法人税等の支払額128百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は47百万円(前年同期は56百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出25百万円、差入保証金の差入による支出12百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は10百万円(前年同期は0百万円の減少)となりました。これは、長期借入れによる収入200百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出181百万円、配当金の支払額28百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間までの業績動向を踏まえ、2023年4月14日に公表いたしました2024年2月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(2023年10月13日)別途開示いたします「2024年2月期業績予想及び出店計画の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,019,280	1,033,284
売掛金	184,953	214,385
商品	1,348,264	1,405,914
その他	88,485	99,378
流動資産合計	2,640,983	2,752,963
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	161,786	163,275
土地	392,159	392,159
その他(純額)	65,853	65,698
有形固定資産合計	619,799	621,133
無形固定資産	12,078	17,256
投資その他の資産		
投資有価証券	250,000	250,000
関係会社株式	22,000	22,000
差入保証金	254,078	266,100
その他	155,629	170,184
投資その他の資産合計	681,708	708,284
固定資産合計	1,313,586	1,346,673
資産合計	3,954,569	4,099,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,507	11,868
1年内返済予定の長期借入金	326,714	429,606
未払法人税等	127,936	85,505
賞与引当金	18,080	21,071
ポイント引当金	19,107	20,348
契約負債	16,996	14,022
その他	266,319	279,679
流動負債合計	792,662	862,103
固定負債		
長期借入金	631,237	547,006
退職給付引当金	42,900	45,500
資産除去債務	79,223	85,507
その他	10,973	16,231
固定負債合計	764,334	694,245
負債合計	1,556,997	1,556,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,865	49,004
資本剰余金	593,040	604,179
利益剰余金	1,766,775	1,890,214
自己株式	△109	△109
株主資本合計	2,397,572	2,543,288
純資産合計	2,397,572	2,543,288
負債純資産合計	3,954,569	4,099,637

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	2,767,150	3,217,911
売上原価	1,305,606	1,556,586
売上総利益	1,461,543	1,661,325
販売費及び一般管理費	1,296,063	1,436,918
営業利益	165,480	224,406
営業外収益		
受取利息	2,978	2,983
受取手数料	6,110	6,968
設備賃貸収入	9,260	10,360
その他	6,967	5,414
営業外収益合計	25,316	25,725
営業外費用		
支払利息	1,320	1,273
設備賃貸原価	7,354	10,286
その他	556	283
営業外費用合計	9,230	11,843
経常利益	181,566	238,288
税引前四半期純利益	181,566	238,288
法人税等	70,520	85,903
四半期純利益	111,046	152,385

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	181,566	238,288
減価償却費	31,066	30,324
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,777	2,991
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,500	2,600
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,937	1,240
契約負債の増減額 (△は減少)	13,699	1,558
受取利息及び受取配当金	△2,978	△2,983
受取保険金	△1,205	-
固定資産除売却損益 (△は益)	△84	-
支払利息	1,320	1,273
売上債権の増減額 (△は増加)	△47,657	△29,432
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△133,596	△57,573
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,787	△5,639
未払金の増減額 (△は減少)	△14,409	△24,749
その他	32,793	40,842
小計	66,643	198,741
利息及び配当金の受取額	2,589	2,593
利息の支払額	△1,335	△1,293
保険金の受取額	1,205	-
法人税等の支払額	△38,663	△128,334
法人税等の還付額	11,947	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,385	71,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,794	△25,900
有形固定資産の売却による収入	84	-
無形固定資産の取得による支出	-	△8,300
差入保証金の差入による支出	△2,009	△12,794
差入保証金の返還による収入	1,010	400
保険積立金の積立による支出	△759	△759
その他	△197	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,666	△47,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△187,830	△181,338
配当金の支払額	△12,514	△28,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344	△10,285
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△14,625	14,003
現金及び現金同等物の期首残高	909,323	1,019,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,697	1,033,284

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

項目	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

品目別販売実績

単位：千円

品目	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
ファッション	1,045,059	1,286,177
工具	526,076	589,445
ホビー	483,183	545,594
ブランド	394,972	364,087
トレカ	76,751	211,212
その他	241,107	221,393
合計	2,767,150	3,217,911

各品目の主な内容は以下のとおりです。

品目	主な内容
ファッション	一般衣料、靴、服飾雑貨品、腕時計等
工具	電動工具、エア工具、エンジン工具、油圧工具、ハンドツール等
ホビー	食玩、ジャパントイ(注)、各種フィギュア、プラモデル、ミニカー、モデルガン、楽器、スポーツ用品等
ブランド	ブランド商品(バッグ、時計を含む)、宝石、貴金属製品及び地金
トレカ	トレーディングカード等
その他	ゲームソフト、生活用品、携帯電話、家具、金券、酒、その他

(注) ジャパントイとは、日本のアニメキャラクター玩具や特撮ヒーロー玩具等、日本企画のおもちゃを総称したものであります。